

モリコロパークの隣で考えるアントレプレナーシップ教育

Report

Day3

2025年11月8日(土) 9:00~17:00

起業家精神と起業家的資質・能力について考える

会場

愛知県立大学 次世代ロボット研究所 (R棟) /
情報科学部 (C棟) コンピュータ演習室

オリエンテーション

・アントレプレナーシップ基本講座
・起業家精神の定義と思考法、事業アイデアの出し方を学ぶ。
・自己分析による自身の特徴理解。
・午後から講演してもらう講師の企業の特長を調査。

・アントレプレナーに学ぶ
・起業した社長および企業で働く社員の講義聴講および質疑応答。

・グループワーク
・起業のアイデアを出し合い、各グループで一つの案に集約。
・起業アイデアのプレゼンテーション用資料を「5W1H+How Much」形式で作成。

・プレゼンテーション
・まとめた起業アイデアをグループごとに発表。



STEP 1 アントレプレナーシップの基本を学ぶ

アントレプレナーシップの定義や日本の起業環境を教えてもらった後、自分の強みと弱みを認識するために、これまでの出来事や経験を整理した「ライフチャート」を作成。ビジネスアイデアを生むには、社会の中で理想と現実のギャップを見つけ、自分の強みと弱みを理解したうえで、ニーズに対して何ができるかを考えるとよいと教えてもらった。また、午後から聴講する講師の企業をスマホで検索して予習してもらった。

STEP 2 起業した社長、起業した会社で働く社会人の話を聞く

現在活躍中の起業家や企業のゲスト3名を招き、自身のキャリア形成や経験談、起業家精神を持って生きることの大切さ等について講義してもらった。

●TECHMAGIC (株) 代表取締役社長 白木裕士氏

起業に必要な5ヶ条、圧倒的な努力が必要だという現実、「世のため、ヒトのためになる道が起業の最高の道」と話してもらった。また「100万人にひとりの人材になれ」と鼓舞してもらった。

●(株) オリィ研究所 中島瑛美氏

分身ロボット「OriHime」の開発経緯、運用状況等の紹介の後、社会課題を解決するためには自分の中で「こうあるべき」と当たり前前に思っていることを疑ってみることが大切な一歩と教えてもらった。

●(株) オリィ研究所 (OriHimeパイロット) 牧野美保氏

「障害は社会との日常生活の間にあるもの」と再定義。障害者だから気づけることも多く「障害は損ではなくビジネスチャンス」と宣言。できないと思っていることを簡単にあきらめないことの大切さを伝えてもらった。

STEP 3 グループワーク&プレゼンテーション

本日のプログラムで未来のキャリア像を想像してもらったところで、グループごとに新たなビジネス案を考案。「5W1H+HowMuch」という形式でまとめて各グループ3分間のプレゼンテーションを行ってもらった。老人支援、農業支援、面接支援など「社会課題」を意識したビジネスプランが発案されていた。